

平成31年度

安曇野市水道事業会計
安曇野市下水道事業会計
事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

目 次

平成31年度 安曇野市水道事業会計 当初予算

原水及び浄水費（上水道課 維持係）	2
配水及び給水費（上水道課 維持係）	3
受託工事費（上水道課 工務係）	4
総係費（経営管理課 庶務担当）	5
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	6
資産減耗費（経営管理課 庶務担当）	7
その他営業費用（経営管理課 庶務担当）	8
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	9
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	10
配水設備工事費（上水道課 工務係）	11
量水器費（上水道課 管理係）	12
固定資産購入費（上水道課 管理係）	13
豊科・明科地域整備事業（上水道課 工務係）	14
改良費（上水道課 管理係）	15
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	16

平成31年度 安曇野市下水道事業会計 当初予算

管きよ費（下水道課 維持管理担当）	18
処理場費（下水道課 維持管理担当）	19
浄化槽費（下水道課 維持管理担当）	20
農業集落排水費（下水道課 維持管理担当）	21
受託工事費（下水道課 維持管理担当）	22
総係費（経営管理課 庶務担当）	23
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	24
資産減耗費（経営管理課 庶務担当）	25
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	26
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	27
管きよ工事費（下水道課 下水道整備担当）	28
農業集落排水工事費（下水道課 下水道整備担当）	29
流域下水道事業費（下水道課 下水道整備担当）	30
固定資産購入費（下水道課 維持管理担当）	31
排水設備工事費（下水道課 維持管理担当）	32
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	33

安曇野市水道事業会計

予算書ページ	22
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 上水道課 維持係
------	---	--------	----------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	原水及び浄水費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	209,109					209,109
前年度	227,222					227,222
増減額	△ 18,113	0	0	0	0	△ 18,113

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・深井戸からくみ上げた地下水に法令に基づき滅菌剤を添加し、配水池に貯水する。
- ・定期的に水質検査を実施して水質の管理に努めるとともに検査結果を市のホームページにわかりやすく公開する。
- ・水道水の安定供給が出来るよう中央監視システムのデータを基に水源施設の運転管理や施設維持管理に努める。

【効果】

- ・水質検査結果の公開により、水質の安全性や検査内容の確認ができ、利用者が安心して使用できる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・水質検査は、原水・浄水の全項目検査を実施し、水質監視に努める。
- ・水源施設におけるポンプ設備の経年劣化部品の交換等計画的な改修を行い、取水の安定性を高める。
- ・配水池内の清掃を計画的に行い、安心で快適な水道水の供給に努める。
- ・水安全計画を策定し、水道施設のリスク分析と管理計画を確立することにより安全で安心な飲料水の供給に努める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
80	備消耗品費	50	水源地管理用品	310	薬品費	3,052	次亜塩素酸ナトリウム、PH調整用石灰(久保田水源)、ホリ塩化アルミニウム(真々部緊急用濾過機分)
100	光熱水費	47	下水道使用料				
130	委託料	28,941	水質検査業務、水源地除草業務 浄水場施設管理業務、配水池不断水清掃点検業務、新電力業務サービス				
140	手数料	152	蜂の巣除去手数料、高圧電力料金口座振込手数料				
160	修繕費	2,230	配水池電気計装設備修繕、送水ポンプ修繕				
250	負担金	500	三郷南小倉工区維持管理費(南小倉揚水機場電気料)、三郷室山東揚水場電気料負担金				
300	動力費	174,137	施設電気料				
上記の合計		209,109	職員の人件費合計	0	事業費総合計	209,109	

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水質検査業務	水道法の規定に基づき水質検査計画を策定し実施する。安全で安心な飲料水を供給することができる。	130	委託料	13,556
					計	13,556
2						
					計	0

予算書ページ	22
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 上水道課 維持係
------	---	--------	----------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	2	配水及び給水費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	243,130					243,130
前年度	244,379					244,379
増減額	△ 1,249	0	0	0	0	△ 1,249

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・常時監視システムにより配水・送水施設を維持管理し、各家庭への安定的な水道水の供給に取り組む。
- ・漏水調査を実施し、漏水損失の減少を図る。
- ・各種調査やデータ収集により施設の状況把握に努める。

【効果】

- ・漏水による流失を防ぐことにより、安定した水道水の供給が可能となり、動力費等の節減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・堀金地域の漏水調査を行う。
- ・地図情報システムのデータ更新を行う。
- ・配水管等の破管修理を迅速かつ的確に行う。
- ・配水施設の的確な維持管理を行う。
- ・検満メーターの計画的な交換を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
30	賃金	1,873	非常勤職員賃金	140	手数料	923	検便、公用車車検手数料等
60	旅費	607	職員研修旅費、職員出張旅費	150	賃借料	1,234	鉄道用地、水源用地、中電共架料、積算システム使用料
80	備消耗品費	708	残留塩素測定試薬(毎日検査)、現場用消耗品	160	修繕費	65,170	量水器取替、検満メーター、給水配水管修理、配水設備修理、減圧弁修理、公用車車検整備代
90	燃料費	1,058	公用車燃料代	230	研修費	522	職員研修費
110	印刷製本費	231	メーター交換票、指定工事店説明会資料印刷	250	負担金	7,949	退職手当負担金等
120	通信運搬費	9,461	テレメーター、施設電話料、携帯電話料	320	材料費	1,692	緊急修理用材料、仕切弁蓋等
130	委託料	58,645	上水道台帳GIS更新業務、堀金地域配水管漏水調査、緊急修理待機業務委託	その他		1,838	被服費、公用車保険料、公課費、法定福利費(公務災害負担金・社会保険料)
上記の合計		151,911	職員の人件費合計	91,219	事業費総合計	243,130	

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	漏水調査業務	有収率の低い堀金地域の漏水調査を実施し、漏水箇所の早期発見修理により、水道水の流失を防ぎ、有収率の向上を図る。	130	委託料	6,000
					計	6,000

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 上水道課 工務係
------	---	--------	----------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	受託工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	7,950				7,950	0
前年度	16,593				16,593	0
増減額	△ 8,643	0	0	0	△ 8,643	0

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	受託工事収益	7,950							

【目的・効果】

【目的】

・公共工事等において支障となる水道管・消火栓等の移設を行う。

【効果】

・依頼先の工事等が円滑に行える状態とするとともに、事故等による断水を未然に防止する。

【当該年度の事業概要(手法)】

・移設等依頼を受けた工事について、現場調査等を行った上で円滑に工事の進捗を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
160	修繕費	7,950	消火栓等移設工事				

上記の合計	7,950	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,950
-------	-------	----------	---	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	4	総係費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	166,418					166,418
前年度	164,084					164,084
増減額	2,334	0	0	0	0	2,334

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・水道事業活動全般にかかる一般管理費。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 料金システム改定業務委託料等の増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
50	報酬	70	上下水道事業経営審議会委員報酬	140	手数料	4,988	口座振替手数料、窓口取扱手数料、コンビニ収納窓口手数料、郵便局口座振替手数料
60	旅費	277	職員研修、徴収事務研修旅費	150	賃借料	5,967	上下水道料金システム使用料、コンビニ収納システム使用料
70	被服費	64	作業着等	160	修繕費	154	ハンディーターミナル修理費
80	備消耗品費	816	一般事務用品	190	保険料	217	水道施設建物共済
110	印刷製本費	3,399	料金関係用紙代、予算書・決算書印刷代、料金改定案内チラシ	210	雑費	125	官報閲覧料、ETC使用料
120	通信運搬費	5,857	直通電話料、後納郵便料	その他	8,068	研修費、負担金、貸倒引当金繰入額、法定福利費(公務災害負担金)	
130	委託料	90,135	上下水道料金徴収業務、コンビニ収納システム保守業務、企業会計システム保守				
上記の合計		120,137	職員の人件費合計	46,281	事業費総合計	166,418	

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容及効果	節	節名称	金額
1	ソフト	収納率向上対策	給水停止予告や催告を積極的に行いながら、納付や連絡のない滞納者は支払督促などを進め、滞納額の縮減を図る。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により水道事業経営を安定的に維持する。	60	旅費	29
				120	通信運搬費	34
				140	手数料	15
					雑費・研修費	44
					計	122
2						
					計	0

予算書ページ	26
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	5	減価償却費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,061,969				275,892	786,077
前年度	1,035,433				278,260	757,173
増減額	26,536	0	0	0	△ 2,368	28,904

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	275,892							

【目的・効果】

減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算にあたって各事業年度に配分し、費用化するもの。また、平成26年度からの新会計基準適用に伴い、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上され、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化されることとなる。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
470	有形固定資産減価償却費	1,061,969	建物、構築物、機械及び装置、車輛及び運搬具、工具・器具・備品				

上記の合計	1,061,969	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,061,969
-------	-----------	----------	---	--------	-----------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	26
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	6	資産減耗費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	22,876					22,876
前年度	18,425					18,425
増減額	4,451	0	0	0	0	4,451

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 ・固定資産が減失又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、その帳簿価額を除くこととなる。これを除却といい、除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上する。また、建物などの取り壊しに要する費用を固定資産除却費として計上する。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
490	固定資産除却損	7,747	固定資産除却損				
495	固定資産除却費	15,129	固定資産除却費				

上記の合計	22,876	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,876
-------	--------	----------	---	--------	--------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	26
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	7	その他営業費用		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	35				34	1
前年度	26				25	1
増減額	9	0	0	0	9	0

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	材料売却収益	34							

【目的・効果】

・水道メーターの破損等に伴い、貯蔵量水器から売却したメーター原価を売却原価として振替えるもの。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
510	材料売却原価	35	材料売却原価				

上記の合計	35	職員の人件費合計	0	事業費総合計	35
-------	----	----------	---	--------	----

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	営業外費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	134,391					134,391
前年度	146,013					146,013
増減額	△ 11,622	0	0	0	0	△ 11,622

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れした企業債の支払利息。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
530	企業債利息	134,391	企業債利息				

上記の合計	134,391	職員の人件費合計	0	事業費総合計	134,391
-------	---------	----------	---	--------	---------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	営業外費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	過年度損益修正損		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,300					1,300
前年度	385					385
増減額	915	0	0	0	0	915

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・過年度水道料金調定額が、漏水修理減免申請により調定更正が発生した場合に費用として処理するもの。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 過年度までの実績により増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
630	過年度損益修正損	1,300	過年度水道料金修正損(調定更正発生分)				

上記の合計	1,300	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,300
-------	-------	----------	---	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	30
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 上水道課 工務係
------	---	--------	----------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	配水設備工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源					一般財源
	国支出金	県支出金	企業債	一般会計出資金	分担金	工事負担金	
本年度	780,779	8,588	151,000			32,000	589,191
前年度	774,949		169,000			29,350	576,599
増減額	5,830	8,588	0 △ 18,000	0	0	2,650	12,592

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	国庫補助金		8,588						
1	企業債		151,000							
1	工事負担金		32,000							

【目的・効果】

【目的】

- ①拠点配水池に接続する導・送水管及び、重要給水施設への配水管の更新を図る。
- ②老朽化した水道施設の更新・改修・耐震化等を計画的に推進し、安心で安全な水道水の供給を図る。

【効果】

- ①管路を耐震管にすることにより、災害時に重要給水施設へ確実に水道水の供給が図れる。
- ②漏水等が解消され有収率の改善が見込める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・主要管路整備(豊科)DIPφ250 L=410m
(三郷)DIPφ300 L=440m
(穂高)DIPφ150~200 L=1760m
- ・配水管(老朽)布設替工事
(豊科)DIPφ75 HPPEφ75 L=280m
(三郷)HPPEφ50 L=600m
(穂高)HPPEφ50~100 7路線 L=3000m
(堀金)DIPφ75~150 L=370m
(明科)DIP・HPPEφ50~100 5路線 L=2400m

【一般財源増加理由】 水道ビジョンに基づいた施設更新工事費の増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
130	委託料	47,378	配水管(老朽)布設替工事実施設計業務、配水池外構工事・緊急遮断弁設置工事設計業務				
250	負担金	30,000	幹線市道舗装復旧負担金(市内全域)				
290	路面復旧費	50,000	県道・市道路面復旧工事				
330	工事請負費	653,401	主要管路整備導・配水管布設替工事、配水管(老朽)布設替工事、配水池外構工事、取・送水ポンプ等更新工事				

上記の合計	780,779	職員の人件費合計	0	事業費総合計	780,779
-------	---------	----------	---	--------	---------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容及効果	節	節名称	金額
1	ハード	主要管路整備事業	拠点配水池に接続する導・送水管や重要給水施設への配水管を耐震化することにより、確実に水を供給することができる。	330	工事請負費	203,806
					計	203,806
2	ハード	老朽管布設替事業	漏水等が解消され有収率の改善が見込まれる。	330	工事請負費	252,400
					計	252,400

予算書ページ	30
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 上水道課 管理係
------	---	--------	----------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	2	量水器費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,068					1,068
前年度	1,103					1,103
増減額	△ 35	0	0	0	0	△ 35

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・新たに水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用。

【当該年度の事業概要(手法)】

・5地域で302個を購入する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
325	量水器費	1,068	量水器購入				

上記の合計	1,068	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,068
-------	-------	----------	---	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 上水道課 管理係
------	---	--------	----------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	固定資産購入費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	4,762					4,762
前年度	17,461					17,461
増減額	△ 12,699	0	0	0	0	△ 12,699

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】**
- ・1トﾝ給水タンクを運搬するための公用車(貨物自動車)の購入。
 - ・窓口のGIS用パソコンの購入。
 - ・停電時の電力用のインバータ発電機の購入。

- 【当該年度の事業概要(手法)】**
- ・公用車 1台購入
 - ・パソコン 3台購入
 - ・インバータ発電機 1台購入

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
440	車両及び運搬具	3,800	公用車購入(1台)				
450	工具・器具・備品	962	パソコン(3台)、発電機(1台)				

上記の合計	4,762	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,762
-------	-------	----------	---	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 上水道課 工務係	予算書ページ	30	
予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	4	豊科・明科地域整備事業		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

当初予算額		特定財源					一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	一般会計出資金	分担金	工事負担金
本年度	483,398				162,300		321,098
前年度	547,563	28,861			255,200		263,502
増減額	△ 64,165	△ 28,861	0	0	△ 92,900	0	57,596

特定財源の内訳	款	1	一般会計出資金	金額	162,300	合計金額	162,300

【目的・効果】
【目的】
 ・明科第2水源地から豊科光配水池への送水ルートを整備し、災害時において豊科犀川右岸地域の水量確保のためバックアップシステムを構築する。また配水池を増設することに併せ、土砂災害特別警戒区域にある川東配水池・光配水池・田沢配水池を廃止し、既存施設の統廃合を進める。
【効果】
 ・災害時において豊科犀川右岸地区の水量確保ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・JR・国道19号線横断推進工事 DIP φ 250・300 L=48m
 ・送配水管布設工事DIP φ 250・300 L=3300m
 ・明科第2水源地改修工事 送水施設・電気計装設備工

【一般財源増加理由】 補助対象外事業の増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
130	委託料	19,730	配水池監理業務委託、明科第2水源地改修工事実施設計業務委託				
150	賃借料	6	借地料				
330	工事請負費	458,668	送配水管布設工事、第2水源地改修工事				
340	補償費	103	立木補償費				
410	土地購入費	4,891	土地購入費				
上記の合計		483,398	職員の人件費合計	0	事業費総合計	483,398	

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	送配水管布設工事	豊科明科地域間の管路を耐震管に整備することにより、災害時において安定した水道水の供給が図れる。	330	工事請負費	336,518
					計	336,518
2	ハード	明科第2水源地改修工事	明科第2水源地改修工事を行うことにより、災害時田沢橋が被災しても安定した水量を配水池へ供給できる。	330	工事請負費	122,150
					計	122,150

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 上水道課 管理係	予算書ページ	30	
予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	5	改良費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	515					515
前年度	388					388
増減額	127	0	0	0	0	127

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・計量法に基づき既設量水器を交換するための費用。

【当該年度の事業概要(手法)】
 ・3地域で、φ75mm以上の量水器7個の交換を行う。

【一般財源増加理由】 前年度より計量法に基づき交換する口径の大きな量水器が増えるため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
720	工具機械器具改良費	515	検満メーターφ75mm以上				

上記の合計	515	職員の人件費合計	0	事業費総合計	515
-------	-----	----------	---	--------	-----

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
				計		0
2						
				計		0

安曇野市下水道事業会計

予算書ページ	54
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
------	---	--------	-------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	管きよ費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	980,516					980,516
前年度	945,717					945,717
増減額	34,799	0	0	0	0	34,799

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・衛生的で快適な生活環境の実現のため、下水道施設の適正な維持管理を行う。
- ・持続可能な下水道事業の実現を図る。(ストックマネジメント計画、処理場統廃合)

【効果】

- ・生活環境の向上および公共水域の水質改善が図れる。
- ・下水道施設を計画的かつ効率的に管理し、施設更新等の費用の平準化が図れる。(ストックマネジメント計画)
- ・汚水処理施設の集約化による汚水処理および事業経営の効率化が図れる。(処理場統廃合)

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・下水道処理施設等の維持管理業務を包括的に委託する。
- ・長野県が管理する犀川安曇野流域下水道の維持管理費の一部を負担する。
- ・前年度管路新設工事箇所等のデータを下水道台帳に更新登録する業務を委託し事務の効率化を図る。
- ・管路施設(道路上)の維持管理を実施する。
- ・ストックマネジメント計画(管路)の実施方針を策定する。
- ・処理場の統廃合に係る接続基本設計を実施する。

【一般財源増加理由】 負担金、新規業務委託料等の増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
60	旅費	185	職員研修旅費、職員出張旅費	150	賃借料	199	積算システム使用料等
70	被服費	89	作業着等	160	修繕費	16,243	管路等維持管理補修費、公用車修理代等
80	備消耗品費	546	舗装補修用常温合材、公用車タイヤ代等	190	保険料	198	公用車自賠責保険料、公用車損害共済
90	燃料費	401	公用車燃料代	200	公課費	22	公用車重量税
120	通信運搬費	124	緊急通報携帯電話使用料	230	研修費	127	職員研修参加費
130	委託料	98,386	下水道処理施設等維持管理業務、下水道施設広域監視業務、ストックマネジメント計画、統廃合に係る接続基本設計業務等	250	負担金	814,144	犀川安曇野流域下水道維持管理負担金等
140	手数料	219	CADシステム更新手数料 公用車車検手数料等	その他		230	材料費、法定福利費(公務災害負担金)
上記の合計		931,113	職員の人件費合計	49,403	事業費総合計	980,516	

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容及効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道処理施設等維持管理業務	公共下水道の管路・マンホールポンプ場の維持管理業務の委託及び流域下水道施設の維持管理費を負担することにより、適正な汚水処理を安定して行うことができる。	130	委託料	65,652
				250	負担金	809,947
					計	875,599
2	ソフト	処理場統廃合の具体化	明科地域の単独公共下水道及び農業集落排水施設を流域下水道に統合する接続基本設計を行い、事業統合事務の円滑化と汚水処理施設の集約化による汚水処理及び事業経営の効率化を図ることができる。	130	委託料	6,167
					計	6,167

予算書ページ	56
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
------	---	--------	-------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	2	処理場費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	39,989					39,989
前年度	39,215					39,215
増減額	774	0	0	0	0	774

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・衛生的で快適な生活環境の実現のため明科浄化センターの適切な維持管理を行う。

【効果】

・生活環境の向上及び公共水域の水質改善が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】

・明科浄化センターの維持管理業務を包括的に委託し適正な維持管理を図る。
 ・明科浄化センターの汚泥運搬処理を委託する。

【一般財源増加理由】消費税率増に伴う増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
130	委託料	39,989	明科浄化センター維持管理業務 脱水汚泥運搬処理業務委託等				

上記の合計	39,989	職員の人件費合計	0	事業費総合計	39,989
-------	--------	----------	---	--------	--------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道処理施設等維持管理業務	公共下水道処理施設の維持管理業務を委託することにより、適正な汚水処理を安定して行うことができる。	130	委託料	31,872
					計	31,872
2					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
------	---	--------	-------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	浄化槽費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,174					2,174
前年度	2,060					2,060
増減額	114	0	0	0	0	114

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・豊科大口沢地区の特定地域生活排水処理施設(市町村設置型合併処理浄化槽)の適正な維持管理を行う。

【効果】

・生活環境の向上及び公共水域の水質改善が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・施設の保守点検業務を委託する。
- ・法定点検および汚泥汲取りを実施する。

【一般財源増加理由】 浄化槽修繕費の増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
80	備消耗品費	30	浄化槽放流水滅菌剤等				
130	委託料	457	浄化槽保守点検業務委託				
140	手数料	851	浄化槽法定検査料 汚泥汲取り料				
160	修繕費	500	浄化槽修繕費				
250	負担金	336	大口沢浄化槽組合負担金				

上記の合計	2,174	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,174
-------	-------	----------	---	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	56
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
------	---	--------	-------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	4	農業集落排水費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	54,242					54,242
前年度	55,836					55,836
増減額	△ 1,594	0	0	0	0	△ 1,594

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・衛生的で快適な生活環境の実現のため、明科の農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行う。
- ・持続可能な下水道事業の実現を図る。(ストックマネジメント計画)

【効果】

- ・生活環境の向上及び公共水域の水質改善が図れる。
- ・下水道施設を計画的かつ効率的に管理し、施設更新等の費用の平準化が図れる。(ストックマネジメント計画)

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・下水道処理施設(農業集落排水処理場)等の維持管理業務を包括的に委託し適正な維持管理を図る。
- ・4箇所(押野、川西、中村、生野)の浄化センターから発生する汚泥の引き抜き運搬処理業務を委託する。
- ・ストックマネジメント計画(管路)の実施方針を策定する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
130	委託料	53,548	処理施設等維持管理業務、下水道施設広域監視業務、汚泥引抜運搬処理業務、ストックマネジメント計画等				
140	手数料	94	口座振替手数料、コンビニ収納手数料等				
160	修繕費	600	管路等維持修繕費				

上記の合計	54,242	職員の人件費合計	0	事業費総合計	54,242
-------	--------	----------	---	--------	--------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道処理施設等維持管理業務	農業集落排水施設の維持管理業務の委託をすることにより、適正な汚水処理を安定して行うことができる。	130	委託料	40,396
					計	40,396
2	ソフト	○ スtockマネジメント計画(管路) 事業費は、公共(目:管きよ費)と農集排に管渠延長で案分。	老朽化が進む下水道施設について、その状況を客観的に把握・調査し、長期的な施設の状況を予測しながら、計画的かつ効率的に管理する計画を定め、また、施設更新の平準化を図り持続可能な下水道事業経営を実現する。	130	委託料	407
					計	407

予算書ページ	56
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
------	---	--------	-------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	5	受託工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	9,111				9,111	0
前年度	4,590				4,590	0
増減額	4,521	0	0	0	4,521	0

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		1	一般会計負担金			3,706	1			受託工事収益	5,405		
													9,111

【目的・効果】

【目的】

- ・下水道施設ではない環境整備排水路施設の管理先を決定する。
- ・公共工事等に伴い支障となる下水道施設(公共ます等)の移設を実施する。

【効果】

- ・健全で効率的な下水道事業の運営を図られる。
- ・公共工事等が円滑に施工されると共に、汚水も継続して処理される。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・環境整備排水路施設の現状調査・測量を行い、施設データの作成、電子化による共有化を図り、所管先を決定する。
- ・担当部署からの要請により、支障となる下水道施設の必要な移設工事を実施する。

【一般財源増加理由】環境整備排水路施設の現状調査に係る委託料の増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
130	委託料	3,705	環境整備排水路管理受託現況調査業務等				
160	修繕費	5,406	道路改良工事等に伴う公共ます移設工事等				

上記の合計	9,111	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,111
-------	-------	----------	---	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	56
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	6	総係費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	118,660					118,660
前年度	121,424					121,424
増減額	△ 2,764	0	0	0	0	△ 2,764

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業活動全般にかかる一般管理費。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
30	賃金	1,976	徴収推進員賃金等	150	賃借料	1,608	本庁舎使用料、受益者負担金システム使用料
60	旅費	208	職員研修旅費、職員出張旅費	220	報償費	2,233	受益者負担金前納報奨金
80	備消耗品費	652	プリンター用紙 一般事務用品等	230	研修費	307	職員研修参加費
110	印刷製本費	1,851	料金関係用紙代、予算書・決算書印刷代	250	負担金	70,729	日本下水道協会会費、 使用料徴収業務委託事務負担金等
120	通信運搬費	2,977	料金後納郵便料	380	貸倒引当金繰入額	2,700	貸倒引当金繰入額
130	委託料	3,290	企業会計システム保守等	390	補助金及び交付金	2,000	下水道接続補助金
140	手数料	3,670	口座振替手数料 コンビニ収納手数料等	その他		401	被服費、雑費、法定福利費(公務災害負担金・社会保険料)
上記の合計		94,602	職員の人件費合計	24,058	事業費総合計	118,660	

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水洗化率向上対策	下水道接続工事への補助制度の活用を図りながら、積極的な下水道接続奨励に取り組み水洗化率向上を目指し、使用料収入の増加に努める。	120	通信運搬費	200
				390	補助金及び交付金	2,000
					計	2,200
2	ソフト	収納率向上対策	訪問折衝や催告を積極的に行いながら、納付や連絡のない滞納者は滞納処分を進め、滞納額の縮減を図る。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により下水道事業経営を安定的に維持する。	60	旅費	29
				120	通信運搬費	117
					雑費・研修費	62
					計	208

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	7	減価償却費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,913,996				725,261	1,188,735
前年度	1,925,956				733,751	1,192,205
増減額	△ 11,960	0	0	0	△ 8,490	△ 3,470

特定財源の内訳	款	1	長期前受金戻入	金額	725,261	合計金額	725,261
	細節名称						

【目的・効果】
 減価償却は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算にあたって、各事業年度に配分し、費用化するもの。また、平成26年度からの新会計基準適用に伴い、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上され、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化されることとなる。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
470	有形固定資産減価償却費	1,738,681	建物、構築物、機械及び装置、工具・器具・備品				
480	無形固定資産減価償却費	175,315	流域下水道施設利用権				
上記の合計		1,913,996	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,913,996	

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	58
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	8	資産減耗費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	3,955					3,955
前年度	0					0
増減額	3,955	0	0	0	0	3,955

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、その帳簿価額を除くこととなる。これを除却といい、除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上するもの。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・公共下水道固定資産除却
- ・公用車 2台廃車

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
490	固定資産除却損	3,955	固定資産除却損				

上記の合計	3,955	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,955
-------	-------	----------	---	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	58
--------	----

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	営業外費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	595,854					595,854
前年度	641,494					641,494
増減額	△ 45,640	0	0	0	0	△ 45,640

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】**
- ・建設改良費に充てるため借入れた企業債の支払利息。
 - ・資本費平準化債の支払利息。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
530	企業債利息	595,854	公共下水道事業債償還利子、農業集落排水事業債償還利子				

上記の合計	595,854	職員の人件費合計	0	事業費総合計	595,854
-------	---------	----------	---	--------	---------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当
------	---	--------	------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	営業外費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	過年度損益修正損		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	300					300
前年度	100					100
増減額	200	0	0	0	0	200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 ・水道の漏水修理減免申請により前年度下水道使用料の調定が減額される場合の費用。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 過年度までの実績により増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
630	過年度損益修正損	300	過年度下水道使用料修正損				

上記の合計	300	職員の人件費合計	0	事業費総合計	300
-------	-----	----------	---	--------	-----

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 下水道整備担当
------	---	--------	--------------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	管きよ工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	企業債	その他
13,989	106,470	△ 92,481	0	0	△ 95,600	6,280
						6,760
						480
						10,390
						△ 3,161

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・水路や河川など公共水域の水質改善による自然環境の保全と、トイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境の実現のため、公共下水道施設の整備等を行う。

【効果】
 ・公共水域の水質改善により、悪臭やハエ・蚊などの発生が抑えられる。
 ・トイレが水洗化され、衛生的で快適な生活を送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】
 ・下水道本管の整備は平成30年度で概ね完了したが、受益者負担金を納入している処理区域内の公共ます未設置の受益地を対象とした公共ます新設工事を行う。
 ・道路改良工事等の計画に伴い、下水道管の撤去および布設替えの移設工事を行い、施設整備を進める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
130	委託料	1,214	道路改良に伴う管渠移設詳細設計業務等				
330	工事請負費	12,775	公共ます新設工事、管路移設受託工事等				
上記の合計		13,989	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,989	

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 下水道整備担当
------	---	--------	--------------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	2	農業集落排水工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	4,066				2,030	2,036
前年度	0				0	0
増減額	4,066	0	0	0	2,030	2,036

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・道路改良工事等に伴い支障となる下水道施設の移転を行う。
【効果】
 ・施設の損傷防止と適切な施設維持管理が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】
 道路改良工事に伴う下水道管移設・復旧を行う。

【一般財源増加理由】 道路改良工事に伴う移転工事費の増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
330	工事請負費	4,066	下水道管移設受託工事				

上記の合計	4,066	職員の人件費合計		事業費総合計	4,066
-------	-------	----------	--	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 下水道整備担当
------	---	--------	--------------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	流域下水道事業費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	137,650			133,000		4,650
前年度	91,154			86,200		4,954
増減額	46,496	0	0	46,800	0	△ 304

特定財源の内訳	款	1	下水道事業債	金額	133,000	合計金額

【目的・効果】

長野県が実施している犀川安曇野流域下水道事業の事業費の一部を建設負担金として支出するもの。
 (流域下水道事業費から国庫支出金を除く地方負担額のうち、50%を事業主体である長野県、50%を地元自治体の安曇野市と松本市で負担する。)

【当該年度の事業概要(手法)】

流域下水道事業費(計画)		地元建設負担金 (安曇野市・松本市)	左記のうち、 安曇野市負担金
交付金事業			
水質保全(低率)	69,000千円	17,250千円	15,681千円
地震対策(低率)	115,000千円	28,750千円	25,034千円
地震対策(高率)	354,000千円	59,000千円	53,631千円
資源(高率)	55,500千円	9,250千円	8,408千円
交付金事務費	67,000千円	33,500千円	30,351千円
県単事業	10,000千円	5,000千円	4,545千円
計	670,500千円	152,750千円	137,650千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
250	負担金	137,650	犀川安曇野流域下水道事業建設負担金				

上記の合計	137,650	職員の人件費合計	0	事業費総合計	137,650
-------	---------	----------	---	--------	---------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
------	---	--------	-------------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	4	固定資産購入費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,150					1,150
前年度	400					400
増減額	750	0	0	0	0	750

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・公用車の適正な管理を図る。
【効果】
 ・公用車の統廃合により経費縮減と経営の効率化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】
 ・使用年数が18年を超えた業務用車両2台を廃車とし、新たに貨物用軽自動車を1台購入する。

【一般財源増加理由】 公用車購入に伴う増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
440	車両及び運搬具	1,150	監督車両の購入				

上記の合計	1,150	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,150
-------	-------	----------	---	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
------	---	--------	-------------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	5	排水設備工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,029					1,029
前年度	1,017					1,017
増減額	12	0	0	0	0	12

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・井戸利用者の汚水排除量を計量するため井水メーターを設置する。

【効果】

・井戸利用者の汚水排除量を把握し適正な使用料を徴収することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

・井水メーター購入及び、設置工事を発注。

【一般財源増加理由】消費税率増に伴う増額のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
325	量水器費	284	新規井水メーター購入費				
330	工事請負費	745	新規井水メーター設置工事費				

上記の合計	1,029	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,029
-------	-------	----------	---	--------	-------

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当	予算書ページ	62	
予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	企業債償還金		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	企業債償還金		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,322,823			363,600		1,959,223
前年度	2,249,570			323,800		1,925,770
増減額	73,253	0	0	39,800	0	33,453

特定財源の内訳	款	1	下水道事業債 (資本費平準化債)	金額	363,600	合計金額	363,600
	金額						

- 【目的・効果】**
- ・建設改良費に充てるため借入れた企業債の償還金。
 - ・資本費平準化債の償還金。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
560	企業債元金償還金	2,322,823	公共下水道事業債元金償還金、 農業集落排水事業債元金償還金				
上記の合計		2,322,823	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,322,823	

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0